

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮崎県 延岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.52	0.99	100.00	2,619

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
117,563	868.02	135.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,157	0.49	2,361.22

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率は100%以上で、累積欠損金も発生していません。今後も健全経営を持続していくことが必要です。

・経費回収率は100%を下回っており、減少傾向にあります。これは、下水道使用料収入が年々減少していることが要因です。現行の使用料では全ての汚水処理経費を賄えていないことを示していますので、将来を見据え、維持管理費用に対する使用料水準について再検討していく必要があります。また、維持管理費の削減や不明水（特に雨天時に汚水量が増加する現象）対策に取り組み、有収水量の増加に努めます。

・流動比率は100%を下回っており、減少傾向にあります。下水道使用料の減少による現金預金の減少及び翌年度償還予定の企業債の増加が要因です。流動比率が100%を下回っていることは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えていないことを示していますが、負債の多くは建設改良費等の財源に充てるための企業債が占めており、これについては、使用料等を原資として償還を予定しています。このことを踏まえた上で、支払能力を高めるためにも引き続き経営改善が必要となります。

・施設利用率は、類似団体平均値を下回っており、施設の効率性は決して高くない状況です。年々減少傾向にあるため、今後の汚水処理人口の減少等を踏まえ、適切な施設規模を検討する必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることを示しています。

老朽化について、法定耐用年数を超えた管渠はないことから、現在必要な更新事業はない状況です。

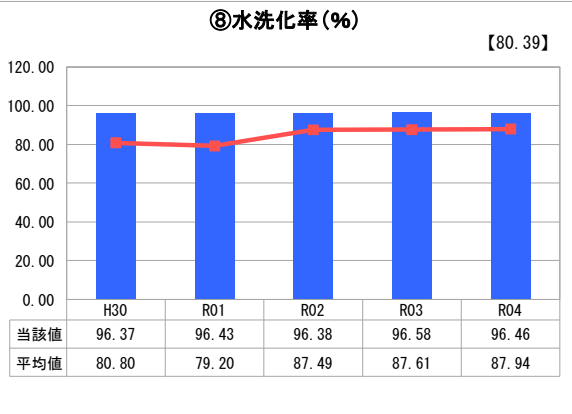
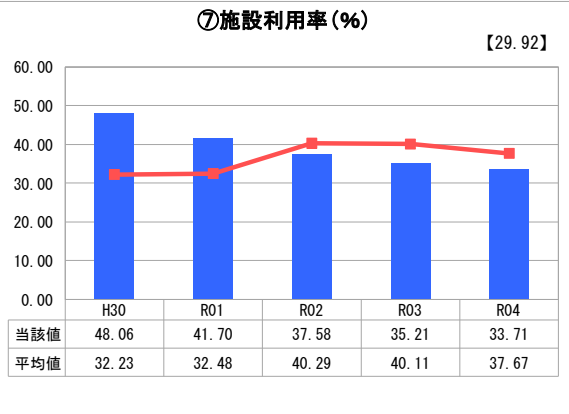
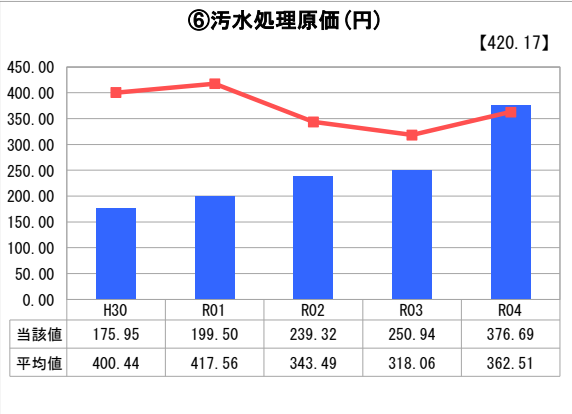
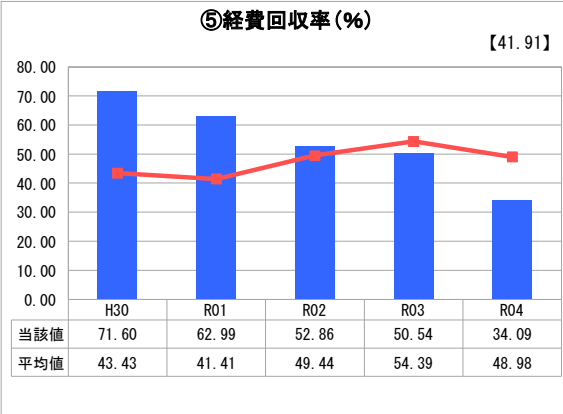
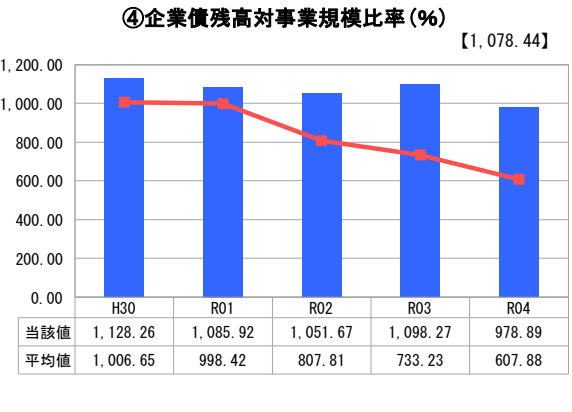
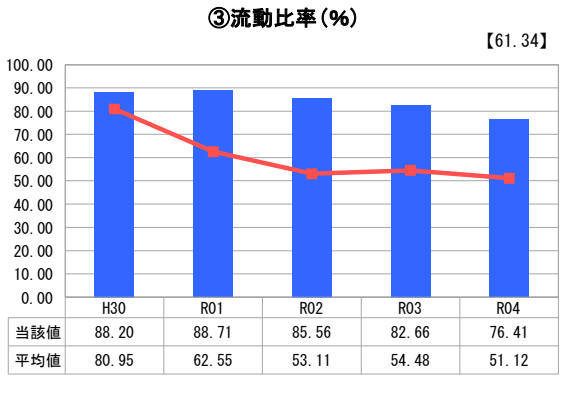
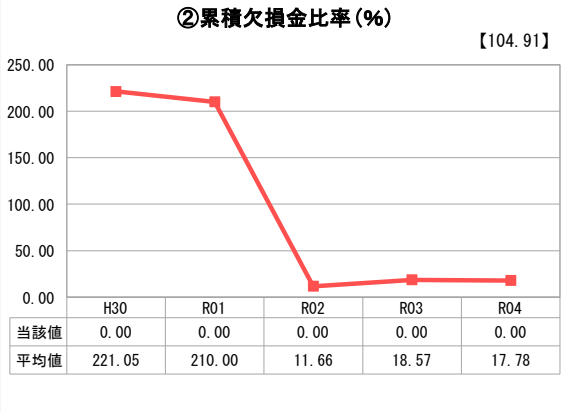
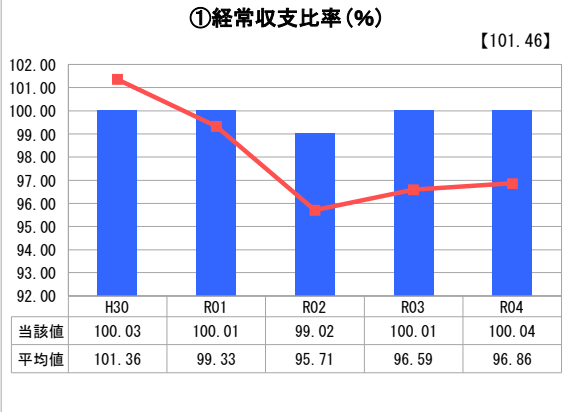
今後の老朽化を見据えて、将来の更新費用の財源確保と投資計画の見直し等を行う必要があります。

全体総括

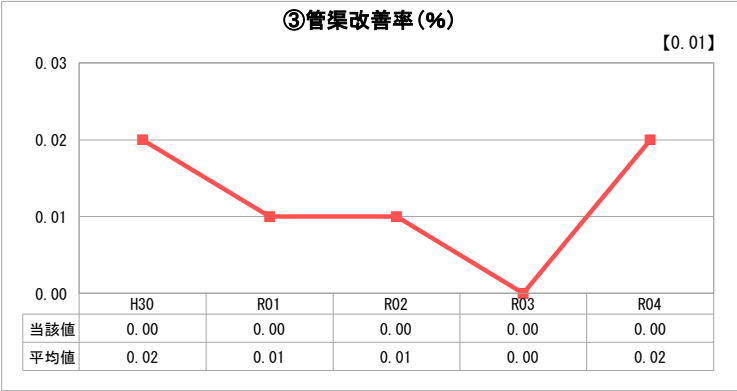
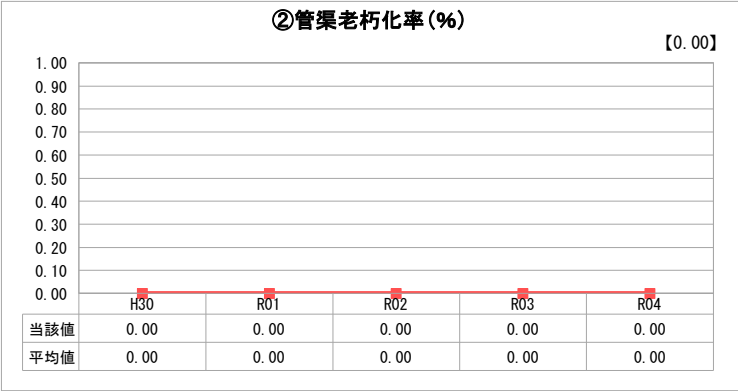
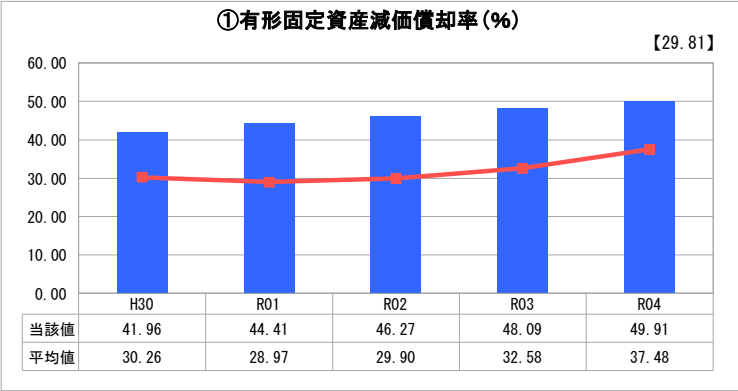
今後、処理施設の老朽化に伴う費用の増加に対応するため、更新費用の財源となる使用料の見直しや新たな更新計画の策定も含めた効率的な改革が必要となっています。

また、本地域内においても農業集落排水事業と同様に、不明水増加が大きな問題となっています。その影響による維持管理経費の増加も顕著に表れているため、早急な原因の究明と整備を行う必要があります。なお、経営戦略については平成28年度に策定し、令和2年度に改定済みです。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。